

---

# 凡人 乱世に生きる

聖生活(笑)

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

凡人 乱世に生きる

### 【Nコード】

N7826S

### 【作者名】

聖生活（笑）

### 【あらすじ】

太閤立志伝5を題材にし、オリジナル主人公が悪戦苦闘する小説と相成ります

但し作者は携帯投稿の仕方をあまり理解できておりませんので、基本的に短いです。

## 凡人、乱世に生きるの設定（前書き）

間違ってもチートにはなりません。いつもギリギリな主人公です。

作者はたまにメタ発言します

## 凡人、乱世に生きるの設定

はじめまして聖生活（笑）です。この度読み専な作者が、無謀にも太閤立志伝を題材に小説を書こうと思います。

何分若輩者でありますが宜しければ見てやってください。

設定としてオリジナルの人物を出していきます。

能力は（笑）なものですのでかなり厳しいと思いますが、宜しければ楽しんでいただきたく思います

主人公は小心者しんしんしゃとなります。ステータスは商人型で、統率40  
武力38 政務75 知謀77 魅力76です。

堺出身の浪人です。

尚この小説では史実と違う所が多々あります。お気をつけください。

## 凡人、乱世に生きるの設定（後書き）

聖生活（笑）です。

友人にOHANASIされて挙げます。素人です、武士になるか、商人になるか、海賊になるか、忍者になるかきめかねてます。

こんな作者ですがよろしくお願いいたします

凡人、乱世に生きる、其の二 私の近況と世の情勢（前書き）

えっと、聖生活（笑）です。 前回に置いてパラメーターはかきましたが、ゲームシステムを説明出来てませんでした。

この小説の元 太閤立志伝ではパラメーターと技能レベルが重要です。

技能は技能レベルの高い人物に師事してミニゲームの結果で上昇します。 但し、親密でないと師事出来ません。 有り体に言うとアイテムを貢げ！がこの小説での基本となります。

こんな阿呆な作者の作品ですが、よろしければお付き合い下さいませ。

## 凡人、乱世に生きる、其の二 私の近況と世の情勢

はじめまして小心者です。この乱世に生を受けて早二十年たちました。両親と旧大内領で住んでいたのですが、大内の殿様がなくなりました。家族は離ればなれ、当時の私は歳十五でした。まあ、何とか堺の街で生活出来てます。

で、変な、自称神の下僕てのが憑いたらしいです。 いや、別に狂人じゃないですよ？ たまに夢枕にたつてああしろ、こうしろって言ってますけど。

まあ、最初が「お前には戦う力は無いから精々逃げろや」なんて言うので逆らつて山賊に勝負仕掛けたら・・・気がついたら身ぐるみ剥がされてました。以来逃げ回ってますよ？

で、最近親しくしてもらっている方がいます。

何と！お武家様ですよ。一人目は赤松家の黒田官兵衛様。かなり贈り物をして色々と教えていただいています。

二人目は三好家の松永久秀様。茶道をたしなまれるそうなので松嶋の壺やら茶器を献上してます。たまに茶の湯を楽しんでおります。

最後は朝倉家一門の朝倉景鏡様。書物を好まれるそうです。

最近は浪人の知り合いも増えてますから、技能と金を増やせます。

この堺に来て早五年。気になったのは今川義元公が桶狭間にて戦死なさったり、尼子家が滅んだり、斎藤家の竹中某や、美濃三人衆が相次いで織田に下った。極めつけは川中島以降動きが少なかった武田家が突如として、当主信玄公の子息たる義信様を処断なされた。その後、今川家との同盟を破棄。桶狭間の後から急速に勢力を拡大した徳川と同盟した。これを背信とした北条が武田に宣戦。更に関東の覇権を争っていた、越後の上杉と北条が同盟。という、尋常ならざる事態がおきているらしい。

とはいえ、私小心中は平凡、小市民、無個性が取り柄なのでどうもないですが。  
はてさて、どうしたものか。

凡人、乱世に生きる、其の二 私の近況と世の情勢（後書き）

という訳で今回はこんな感じとなりました。

小説の主役（笑）の小心者の現在の技能レベルは

足軽0 騎馬0 弓術2 鉄砲0 水軍0 武芸0 軍学4 忍術0 建築4 鉾山2  
開墾1 弁舌4 算術4 茶道1 医術4です。 ええ、正直に言つと武

将としては全く使えまいと思えますが？

仕方ないです。凡人だから。

因みに神（友人）に報告したら何故か呆れられた。

私のルールは攻略本不可、仕官した大名が滅んだらゲーム終了  
となります。

そういう訳ですが、またお付き合いしていただけると嬉しく思  
います。

凡人、乱世に生きる其の三 予想外!?!の事態(前書き)

今回より某勢力に与していきっていきます。

よろしければお付き合い下さい

## 凡人、乱世に生きる其の三 予想外!？の事態

どうも、小心者です。・・・というか、私は誰に話してるのだらう？

???「小心よ。気にしたら負けだぞ。」

・・・って誰ですか!全く。いつもの自称神の下僕なのか？

もういいや。さて今、私は、元北条本拠地の小田原にいます。ええ、元、です。二月程前に武田信玄公率いる武田軍、徳川家康公率いる徳川軍、更に出浦盛清殿の戸隠衆の連合で北条の本拠地たる小田原を強襲したそうです。北条側も従属大名の結城家、風魔小太郎殿の風魔衆を援軍として激戦を繰り広げたそうです。およそ二月に及ぶ大いくさで小田原は陥落して、武田が此の地を制したそうです。今は北条側の本拠地を江戸城として反攻の準備を整えているとか。

いや、天下に名高い堅城小田原を陥落せしめるとは、流石は甲斐の虎ですか。奥州では伊達家と最上家が争っているとか。

南九州では、薩摩の大名、島津家が大隅、日向の両国を制したとの事。

北九州では、豊後の大友家が、松浦家を下し、現在相良家と交戦中とか。九州もきな臭いです。

四国では土佐の長曾我部家が、一条家、河野家を下しました。中央に於いては織田が徳川に続き、浅井家と同盟を結び、志摩、伊勢の北畠家を攻略しました。世間では上洛するのではとの話すらあるようです。

中国地方に於いては、毛利家が破竹の勢いを以て、備前の浦上家、山陰の山名家を攻略、現在は領内の安定に力をいれています。何故、毛利家の戦略を知っているかという点、毛利家の水軍衆の村上水軍に私がいるからです。

堺で浪人をしつつ色々話を集めていたところ、私達家族が離散した大内家の衰退は毛利家によるものだったとの事。父は大内の水軍衆にて船の漕ぎ手をしていました。ならば！息子の私も水軍衆で身を立てましょう！

と思い、村上水軍に入る事は出来ましたが、戦の才覚が全くないのです。

やむを得ず、船普請や、交渉、砦の補修などで、貢献しています。いや、何とも世知辛いですな。

????「だから、おまえにや戦は無理だつてのによ」

・・・何でしょうか。今なら、松永久秀様より話だけしか聞いていない毒殺を名前も知らない誰かにしたくなりました。

おや、評定の知らせですか。これは帰らねばなりませんね。

・・・という訳で三島の砦に帰って来ました。まだ評定まで十八日程ありますか。

船頭さん「小心殿！大変です！塩飽水軍の奴等が此の砦を囲んでいます！

至急評定の間へ！」

なんとまあ、急ぎますかね。

評定の間にて

村上武吉「皆の衆！塩飽水軍の奴等がきやがった。通康！吉充！鶴！者！」

此の砦を奴等に渡すわけにはいかん！出撃だ！」

一同「才才！」

というわけで私の初陣は砦の防衛戦です。

×××「説明しよう！戦は大きく分類すると三つとなる。敵の拠点を攻める攻城戦。自拠点を守る防衛戦。その他の状況で発生する野戦だ！今回は防衛戦なので、敵大将の軍団を壊滅させればイイ！逆に此方の大将が壊滅したり、こっちの本丸が陥落しても負けだ！がな！さ、頑張るがイイ！」

左様ですか。えつと、つて皆壊されてますよ！

火急

普請？補修？・・・！よし、補修！

危ない危ない。つて敵撤退したよ。・・・なんじゃこりゃ！

×××「こ」という訳で村上水軍に仕える事になった、小心者。

こんなんで、大丈夫かな。「」

???「怖いのは、織田と九鬼水軍、テッコウセンだな。」

×××「こ」ナンスかそれ。怖い。

では今回はここまでに致します。失礼致します。「」

凡人、乱世に生きる其の三 予想外！？の事態（後書き）

ども、xxx、神の下僕こと聖生活（笑）です。

今回は神（友人）にいわせるとあり得ないことがあったとの事。初プレイの私にや、解らんすが。

何故村上水軍に仕官したかというところスポットキャラの鶴さんが可愛いかったからです！

ごめんなさい。魔がさしました。

で、出撃前の人物について一応紹介を。通康こと来島通康殿、ぶっちゃけ強いです。吉充こと因島吉充殿、この人も強い。

頭領の村上武吉様、私的には強すぎでしょう、な人

ま、小心さんが戦向きでないってのもありますが。

以後は小心の技能レベルです 足軽2 騎馬0 弓術2 水軍2 鉄

砲2 軍学4 武芸2 忍術2 建築4 鉱山4 開墾4 算術4 弁舌4 茶道

3 医術4

な感じです。内政は高水準ですが、軍事はこれ以上のびないかもでは失礼致します

凡人、乱世に生きる其の四 来る時と駆ける想い（前書き）

この回は小心者より作者が出張ります。

あるテストですので、ご理解下さいますようお願いいたします。

## 凡人、乱世に生きる其の四 来る時と駆ける想い

えらいこつちや、えらいこつちや、えらいこつちや、えらいこつちや。  
×××××「落ち着けや。確かに大事だが、

そもそも、部下もいるだろうが！ま、海戦向けじゃねえが。」

えらいこつちや、えらいこつちや、えらいこつちや、えらいこつちや。  
×××××「そうしたとはいえ、相当だな。

オイ。仕方ないか。」

というわけで神の下僕だ。諸氏には申し訳ないがうちの小心者は元に戻るのに暫しの時がある。

已む無く俺が状況説明しよう。

まずは遠方の情勢だ。

関東では北条家が滅亡。予想出来るかも知れんが、武田が北条家を降した。しかも、旧北条家臣は例外なく武田に仕えて

いる。風魔衆も、戸隠によつて滅亡と。北条の水軍衆だつ

た相模水軍は唯一残つたがな。 たつた三年でよくやるよ。

同時期に長野業正の長野家も滅亡。 三年で北条氏康公、長野業

正公が相次いで亡くなつた訳だ。

更に奥州では、北条から常陸を追われた佐竹家が再起した。

隣国の蘆名家を制した。現在伊達家と交戦中だ。

畿内じゃ織田が六角に苦戦中だ。織田の同盟国の徳川は今川

攻略と武田への援軍でギリギリだろうしな。 六角方は甲賀衆頭

の多羅尾光俊たろみみつしと共闘してよく堪えてる様だ。

九州は覇権をかけて、大友、島津が激突してる。 他

の九州の大家は本拠地佐賀城を失つた龍造寺と、地理的に侵攻されてない対馬の宗家だけ。

四国じゃ長曾我部が三好家とやりあつてるらしい。

んで、毛利元就公は山陰に自分の次男坊、吉川元春。山陽に三男の小早川隆景を配して万全の体勢だ。で、この村上水軍にも塩飽水軍の討伐要請が来たのか主力の大型船で出撃してった。そのの小心者は留守の守りを託された。って訳だ。諸氏は理解していただけだと思うが、こいつはテンパってる。ま、いい加減しはくか（ゴカン）

へぶおっ！な、何するんすか？この自称神の下僕！って三原城に援軍要請は！海賊（一般兵）へい！だしやした。しかしまあ、よりによって豊後水軍たあ。どーしやす？小心様？

ま、まあ大友の傘下の水軍衆だから、解らなくもないけど、敗けてやる道理もない！鶴、熊蔵！豊後水軍共を追い返すぞ！時間が経てば三原から援軍も来る！

何としても耐え抜くぞ

???「やれやれ、やっとやる気になったか。」

×××「」ですな。しかし、気迫や援軍だけで勝てるなら苦労せんでしようよ。ま、頑張れや小心者「」

凡人、乱世に生きる其の四 来る時と駆ける想い（後書き）

という訳で色々と変化がありました。

このままいくと武田が天下獲るかもしれないなあ。

次回は

小心者がいつもより頑張ります。

ま、勝つかどうかは知らんすけど。

またよろしければお付き合い下さいませ。

凡人、乱世に生きる其の五 神の暗躍と道標（前書き）

今回、諸事情により、いつもより短くなっています。  
申し訳ありません

凡人、乱世に生きる其の五 神の暗躍と道標

全く厄介な真似を！豊後水軍め！大将が権兵衛殿以外は一般兵とは！数はこちらが上回ってると思えば、大友さえ動かすとは！  
やっつけてくれる

大友軍は、大将の立花道雪殿、副将、高橋紹運殿だけでも厄介だというに。さらに小野鎮幸殿、軍師角隈石宗殿に田北紹鉄殿とは豪勢なことよ。

此方の援軍三原勢は、未だ到着してないか。・・・誰か居るか！

海賊吉「へい！」

此方から討って出ないように、あくまで敵大将の権兵衛殿の備えを集中的に攻撃させよ。

海賊吉「わかりました。小心様。」

さて、この皆自体は補修を施してるから、そうそう陥落させはしない。いざとなったら応急修復しなきゃならないか。やれやれだ。

海賊吉「小心様！お頭達が塩飽の砦を落としたりようです！」

！吉報だな。だが、あちらさんも、お頭が帰るまではもたす訳にもいかないか。蹴散らせ！

よし、何とか防衛出来たか。やれやれだ。

その後の評定にて、落とした塩飽の砦に来島通康殿を派遣する事となった。その席にて、私、小心者が船頭へとなった。

そういえば、今回攻め寄せて来た豊後水軍にはいづれ借りを返すようだ。うちの頭は執念深いからなあ。さて、大型船でも普請しますか！・・・最近体がだるいのだが、気のせいだろう。

凡人、乱世に生きる其の五 神の暗躍と道標（後書き）

なにやら、神（友人）はしでかしてたようです  
リアルでオハナシせねば

では、失礼します。

凡人、乱世を生きる最終話 世は無情にして、遺すものなし。(前書き)

まさかの事態による急遽の最終話です。  
これまでありがとうございました

凡人、乱世を生きる最終話 世は無情にして、遺すものなし。

最近どうにも体調の優れない小心者です。

塩飽水軍との戦より半年程で、頭領は豊後水軍との決戦にふみきました。

圧倒的多数の軍勢により、豊後水軍は壊滅。頭領は敵頭以外は登用しました。このまま行けば、私達が天下一の水軍衆となるかもしれないね。陸でも、毛利の殿様は大友と島津の戦の間隙を縫って、九州で支配を伸ばしてるそうです。

畿内では織田家が関東を制した武田家と激戦を繰り広げてるそう。今川が滅び、信玄公は亡くなるも、勝頼殿の率いる武田家は徳川を滅ぼしたそうです。

・・・さて、私はそろそろ駄目な様です。せめて、もう少し時があればとも、思いますが、ね。

・・・出来れば皆で死にたかったです・ね。

XXXX「・・・逝きやがったか。やれやれだ。何を為せたのかね」「

凡人、乱世を生きる最終話 世は無情にして、遣すものなし。(後書き)

まさか、寿命を30年にしてるとは、痛恨です。

しかしながら、ルールにより、強制終了と相成ります。

今回まで閲覧ありがとうございました

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7826s/>

---

凡人 乱世に生きる

2011年5月3日23時28分発行